

大阪春闘共闘ニュース

99%の力をあわせて 大阪市内春闘宣言集会を230人で開催！

大阪労連・大阪市地区協議会とみどうすじ総行動実行委員会は、3月6日夜、いきいきエイジングセンターにて春闘宣言集会を開催しました。

今回は「99%の力をあわせて」をメインスローガンに、『自然エネルギーへの転換で原発ゼロの社会実現、「社会保障と税の一体改革」反対、TPP参加反対、普天間基地撤去、教育基本条例案阻止、つくろう住民本位の大阪府政・大阪市政、憲法いかし実現しよう全ての職場にディーセントワークを』をサブスローガンに取り組み230人が参加しました。

オープニングは、大阪市労組の有志による寸劇「職員基本条例案絶対おかしいよ!」。『市長選に勝ったのだから私が民意だよ』との市長の発言と、『職務命令』を声だかに上の顔色を見て下を見ない区長や保育所長をユーモラスに表現。

記念講演は、1月そして、2月とアフガニスタンを訪れたフリージャーナリスト西谷文和さんの

「99%の力をあわせて」でした。アフガニスタンも国内外の政治も、橋下問題も「根は一緒」。99%の力をあわせて、がんばるしかないと言説しました。

講演の後は、各地域・単組からの1分間スピーチ。南大阪春闘共闘の奥野さんは、「橋下維新への反撃」。西淀川春闘共闘の門谷さんは、未加盟労組への訴えと2条例反対。市労組の八尾さんは、市職員・労組を悪者に仕立てる橋下市長。市労組の永谷さんは、保育行政の劣悪さと最低基準の切り下げ。市障教の藤田さんは、君が代起立条例。福保労の大石さんは、補助金カット。年金者組合の中居さんは、世代間格差をあおる橋下。地域労組スマイルにしよどの大津さんは、路線バス存続の危機。それぞれの取り組みやたたかいについて語りました。

最後は全員で春闘宣言を唱和し、恒例の餅まきでしめくりました。

～市地区協事務局ニュース NO. 65～



“府民共同で、雇用と仕事の確保、賃上げ、社会保障拡充で、内需中心の経済、震災復興を”